

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成26年7月3日(2014.7.3)

【公開番号】特開2013-47628(P2013-47628A)

【公開日】平成25年3月7日(2013.3.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-012

【出願番号】特願2011-185764(P2011-185764)

【国際特許分類】

G 0 4 G 21/04 (2013.01)

【F I】

G 0 4 G 1/00 3 0 7

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月20日(2014.5.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

前記課題を解決するために、本発明に係る感度調整装置は、
蓋部材により開口部を閉塞されてなる外装ケース内に収納され外部の機器との間で無線
信号を送受信可能なアンテナの電波送受信感度を調整する感度調整装置であって、

前記蓋部材は、

前記外装ケースの開口部に取り付けられた蓋本体と、

前記アンテナを覆う位置に配置されるとともに前記蓋本体に対して回転可能に取り付け
られた回転部材と、
を備え、

この回転部材は、回転の周方向に沿って電波の透過を妨げる遮蔽部と電波を透過させる
開放部とを備え、前記遮蔽部により遮蔽される前記アンテナの被遮蔽範囲を調整すること
を特徴としている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

また、本発明に係る腕時計は、

請求項 1 から請求項 4 のいずれか一項に記載の感度調整装置と、

前記感度調整装置により電波送受信感度を調整されるアンテナと、

前記アンテナを保持するモジュールと、

前記アンテナ及び前記モジュールを収納する外装ケースと、

を備えていることを特徴としている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

蓋部材により開口部を閉塞されてなる外装ケース内に収納され外部の機器との間で無線信号を送受信可能なアンテナの電波送受信感度を調整する感度調整装置であって、

前記蓋部材は、

前記外装ケースの開口部に取り付けられた蓋本体と、

前記アンテナを覆う位置に配置されるとともに前記蓋本体に対して回転可能に取り付けられた回転部材と、

を備え、

この回転部材は、回転の周方向に沿って電波の透過を妨げる遮蔽部と電波を透過させる開放部とを備え、前記遮蔽部により遮蔽される前記アンテナの被遮蔽範囲を調整することを特徴とする感度調整装置。

【請求項 2】

前記遮蔽部は、前記アンテナを被覆する大きさで形成されており、

前記電波送受信感度は、前記内転リングの回転によって前記アンテナが前記遮蔽部に覆われた場合に、低くなることを特徴とする請求項 1 に記載の感度調整装置。

【請求項 3】

前記遮蔽部は、前記回転部材の前記アンテナと対向する面に磁性体を設けることにより構成されていることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の感度調整装置。

【請求項 4】

前記回転部材は、その回転の周方向の一部に他の部分よりも厚く形成された肉厚部を有し、

この肉厚部により前記遮蔽部が構成されていることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の感度調整装置。

【請求項 5】

請求項 1 から請求項 4 のいずれか一項に記載の感度調整装置と、

前記感度調整装置により電波送受信感度を調整されるアンテナと、

前記アンテナを保持するモジュールと、

前記アンテナ及び前記モジュールを収納する外装ケースと、

を備えていることを特徴とする腕時計。